まるごとひふみ

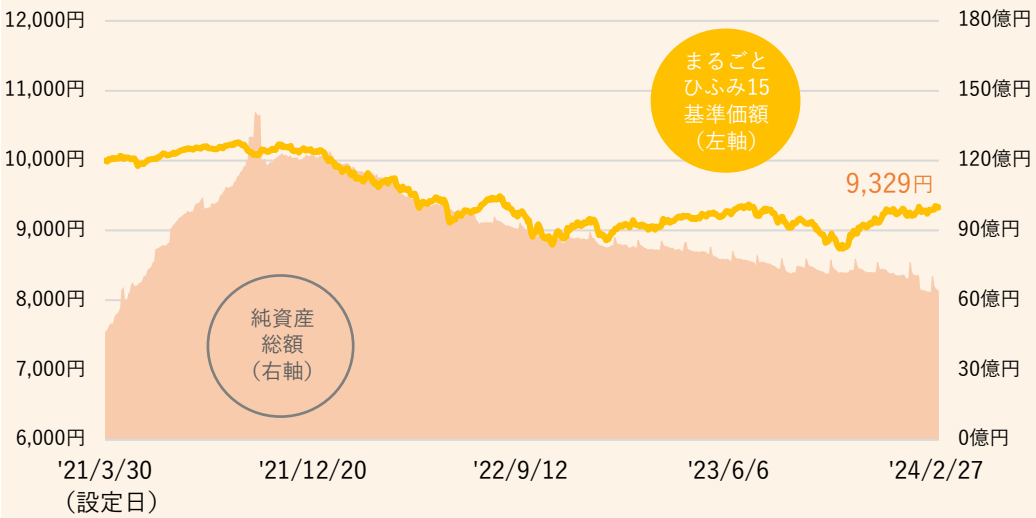
まるごとひふみ15　追加型投信/内外/資産複合
まるごとひふみ50　追加型投信/内外/資産複合
まるごとひふみ100　追加型投信/内外/株式
2024年2月度　月次運用レポート

レオス・キャピタルワークスよりお客様へ
運用状況ならびに運用責任者からお客様へのメッセージなどをご報告します。

作成基準日：2024年2月29日

まるごとひふみ15 運用実績

基準価額等の推移（日次）



運用成績

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
まるごとひふみ15	0.68%	2.44%	2.00%	2.97%	-	-6.71%

まるごとひふみ15の運用状況

基準価額	9,329円
純資産総額	63.99億円

まるごとひふみ15投資信託財産の構成

ひふみグローバル債券マザーファンド	84.76%
ひふみ投信マザーファンド	9.00%
ひふみワールドファンド*	6.06%
現金等	0.18%
合計	100.00%

分配の推移（１万口当たり、税引前）

第2期	2023年4月	0円
第1期	2022年4月	0円
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
設定来合計		0円

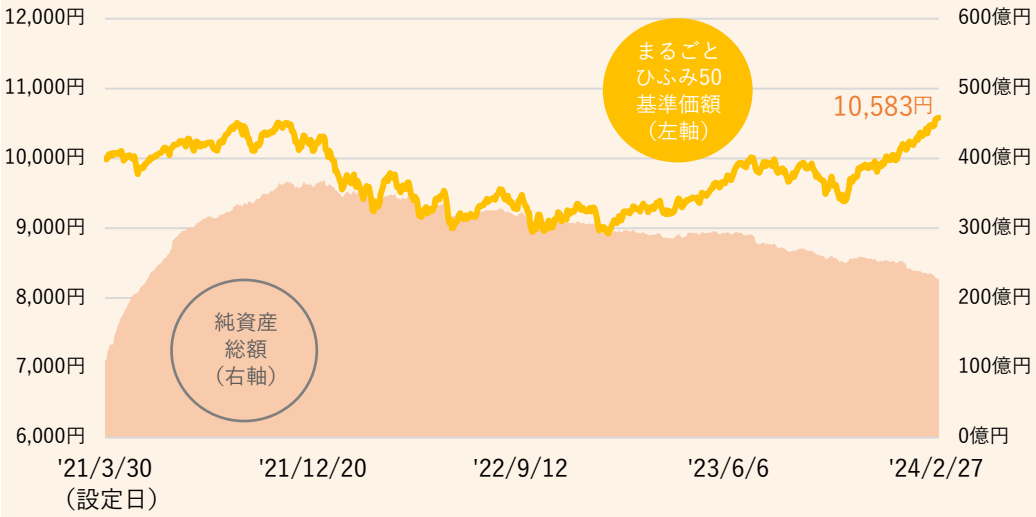
基準価額の変動要因

基準価額変動額（月次）	+63円
〔組み入れファンド別変動要因内訳〕	
ひふみグローバル債券マザーファンド	-14円
ひふみ投信マザーファンド	+43円
ひふみワールドファンド*	+40円
信託報酬・その他	-6円
〔実質的な資産等項目別の変動要因内訳〕	
債券	-6円
株式・投資証券	+70円
為替	+3円
信託報酬・その他	-4円

※「まるごとひふみ」は、「まるごとひふみ15」「まるごとひふみ50」「まるごとひふみ100」の３ファンドの総称です。
※基準価額は1万口あたりです。また信託報酬控除後の値です。
※当レポートにおいて特段の注記がない場合は、基準日時点における組入比率や運用実績を表しています。また運用成績など表記の値については、小数点第三位を四捨五入して表示しています。そのため組入比率などでは合計が100%にならない場合があります。
※「運用成績」の「設定来」は、設定時の価額（10,000円）を起点として算出しております。
※「純資産総額」は100万円未満を切捨てで表示しています。
＊「ひふみワールドファンド」は正式名称を『ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）』といい、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。
※「現金等」には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。
※「基準価額の変動要因」は、月間の変動額を主な要因に分解した概算値であり、実際の数値とは異なる場合があります。また、四捨五入等の関係で、内訳の各数値の合計は基準価額変動額（月次）と合わない場合があります。「信託報酬・その他」のその他には、設定、解約の影響などがあります。
※「まるごとひふみ15」は複数の投資信託証券（投資対象ファンド）への投資を通じて実質的に債券や株式等へ投資し、投資対象ファンドの基本の組入比率：「ひふみグローバル債券マザーファンド」85%、「ひふみ投信マザーファンド」9%、「ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）」6%を維持することを目指して運用を行ないます。（市況動向や運用の状況によっては組入比率が変動する場合があります）各投資対象ファンド等の状況については後述の「ご参考：マザーファンド基準価額の推移と運用成績」をご覧ください。

まるごとひふみ50 運用実績

基準価額等の推移（日次）



運用成績

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
まるごとひふみ50	2.84%	6.81%	7.09%	13.75%	-	5.83%

まるごとひふみ50の運用状況

基準価額	10,583円
純資産総額	226.60億円

まるごとひふみ50 投資信託財産の構成

ひふみグローバル債券マザーファンド	49.90%
ひふみ投信マザーファンド	29.83%
ひふみワールドファンド*	20.27%
現金等	0.00%
合計	100.00%

分配の推移（１万口当たり、税引前）

第2期	2023年4月	0円
第1期	2022年4月	0円
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
設定来合計		0円

基準価額の変動要因

基準価額変動額（月次）	+292円
〔組み入れファンド別変動要因内訳〕	
ひふみグローバル債券マザーファンド	-9円
ひふみ投信マザーファンド	+161円
ひふみワールドファンド*	+147円
信託報酬・その他	-7円
〔実質的な資産等項目別の変動要因内訳〕	
債券	-2円
株式・投資証券	+260円
為替	+41円
信託報酬・その他	-7円

＊「ひふみワールドファンド」は正式名称を『ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）』といい、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。

※「まるごとひふみ50」は複数の投資信託証券（投資対象ファンド）への投資を通じて実質的に債券や株式等へ投資し、投資対象ファンドの基本の組入比率：「ひふみグローバル債券マザーファンド」50%、「ひふみ投信マザーファンド」30%、「ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）」20%を維持することを目指して運用を行ないます。（市況動向や運用の状況によっては組入比率が変動する場合があります）各投資対象ファンド等の状況については後述の「ご参考：マザーファンド基準価額の推移と運用成績」をご覧ください。

まるごとひふみ100 運用実績

基準価額等の推移（日次）

運用成績

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
まるごとひふみ100	5.94%	13.31%	14.72%	30.93%	-	25.63%

まるごとひふみ100の運用状況

基準価額	12,563円
純資産総額	323.13億円

まるごとひふみ100投資信託財産の構成

ひふみ投信マザーファンド	59.79%
ひふみワールドファンド*	40.10%
現金等	0.11%
合計	100.00%

分配の推移（１万口当たり、税引前）

第2期	2023年4月	0円
第1期	2022年4月	0円
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
設定来合計		0円

基準価額の変動要因

基準価額変動額（月次）	+704円
〔組み入れファンド別変動要因内訳〕	
ひふみ投信マザーファンド	+375円
ひふみワールドファンド*	+341円
信託報酬・その他	-13円
〔実質的な資産等項目別の変動要因内訳〕	
株式・投資証券	+604円
為替	+112円
信託報酬・その他	-12円

＊「ひふみワールドファンド」は正式名称を『ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）』といい、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。

※「まるごとひふみ100」は複数の投資信託証券（投資対象ファンド）への投資を通じて実質的に株式等へ投資し、投資対象ファンドの基本の組入比率：「ひふみ投信マザーファンド」60％、「ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）」40％を維持することを目指して運用を行ないます。（市況動向や運用の状況によっては組入比率が変動する場合があります）各投資対象ファンド等の状況については後述の「ご参考：マザーファンド基準価額の推移と運用成績」をご覧ください。

ひふみグローバル債券マザーファンド 運用状況

ひふみグローバル債券マザーファンドの状況	
純資産総額	192.55億円
組み入れ銘柄数	30銘柄

ポートフォリオ特性値	
最終利回り	3.61%
デュレーション	7.5

種別比率	
国債	57.84%
社債	23.72%
住宅ローン担保証券	9.20%
地方債	2.45%
特殊債	1.73%
国際機関債	1.49%
債券先物取引	-18.23%
現金等	21.81%
合計	100.00%

格付比率	
AAA	28.37%
AA	4.85%
A	54.51%
BBB	8.68%
BB以下	-

資産別比率	
海外債券	71.71%
国内債券	24.71%
債券先物取引	-18.23%
現金等	21.81%
合計	100.00%

為替ヘッジ比率
94.89%

組み入れ上位5通貨 比率	
1 米ドル	38.64%
2 ユーロ	28.17%
3 日本円	24.71%
4 オーストラリア・ドル	2.45%
5 中国元	1.73%

組み入れ上位5カ国 比率	
1 アメリカ	39.50%
2 日本	27.95%
3 スペイン	10.09%
4 イタリア	7.96%
5 オーストラリア	2.45%

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てで表示しています。

※「ポートフォリオ特性値」は、ファンドの組入債券等（現金等を含む）の各特性値（最終利回り、デュレーション）を、その組入比率で加重平均したものです。なお、債券先物を含めて計算しています。（Bloombergの情報を基にレオス・キャピタルワークス株式会社作成）
最終利回りは、ファンドが投資している債券等の特性を示すために各債券の利回りから算出したものであり、ファンドの運用成果を示唆、保証するものではありません。
デュレーションは、金利の変動による債券価格の感応度を表しています。値が大きいほど金利変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

※各比率は、ひふみグローバル債券マザーファンドの純資産総額に対する比率を表示しております。

※「種別比率」「資産別比率」の現金等は、純資産総額から有価証券時価総額を差し引いたコールローン、その他の資産です。なお、ヘッジ目的で先物取引を利用する場合があります。

※格付は、ムーディーズおよびS&Pの格付のうち高いものを採用し、S&Pの格付形式で表示しています。

※「組み入れ上位5カ国比率」は原則として発行国で区分しております。なお、国には地域が含まれます。また、国際機関等特定の国に分類しない場合があります。

※「格付比率」「組み入れ上位5通貨比率」「組み入れ上位5カ国比率」「組み入れ上位10銘柄比率」は、現物資産について表示しております。

※「為替ヘッジ比率」は、純資産総額に対する為替予約評価額と円貨資産額の合計の比率です。売買等の計上タイミングや市況動向により比率が100%を超える場合があります。

組み入れ上位10銘柄 比率

銘柄名	種類	国	通貨	償還日	組入比率
1 米国国債	国債	アメリカ	米ドル	2041/2/15	10.21%
2 日本国債（30年）	国債	日本	日本円	2052/12/20	10.13%
3 スペイン国債	国債	スペイン	ユーロ	2033/4/30	8.41%
4 イタリア国債	国債	イタリア	ユーロ	2033/11/1	7.96%
5 日本国債（40年）	国債	日本	日本円	2063/3/20	6.90%
6 米国住宅ローン担保証券	住宅ローン担保証券	アメリカ	米ドル	2053/5/20	6.21%
7 バンク・オブ・アメリカ	社債	アメリカ	ユーロ	2026/9/22	5.13%
8 三井住友フィナンシャルグループ	社債	日本	米ドル	2027/1/14	4.69%
9 日本国債（20年）	国債	日本	日本円	2042/12/20	4.69%
10 米国国債	国債	アメリカ	米ドル	2041/8/15	4.41%

ひふみ投信マザーファンド 運用状況

ひふみ投信マザーファンドの状況	
純資産総額	8,566.70億円
組み入れ銘柄数	176銘柄

資産配分比率	
国内株式	90.42%
海外株式	7.94%
海外投資証券	0.16%
現金等	1.48%
合計	100.00%

市場別比率	
プライム市場	88.06%
スタンダード市場	1.58%
グロース市場	0.79%
その他海外株	8.10%
現金等	1.48%
合計	100.00%

組み入れ上位10業種 比率		
1	電気機器	10.77%
2	情報・通信業	10.05%
3	機械	8.50%
4	サービス業	7.52%
5	小売業	6.75%
6	輸送用機器	6.32%
7	銀行業	5.30%
8	建設業	4.52%
9	化学	3.69%
10	食料品	3.20%

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てで表示しています。

※各比率は、ひふみ投信マザーファンドの純資産総額に対する比率を表示しております。

※「資産配分比率」「市場別比率」の現金等は、純資産総額から有価証券時価総額を差し引いたコールローン、その他の資産です。

※「資産配分比率」の株式には新株予約権を含む場合があります。「海外投資証券」はREIT（不動産投資信託）等です。

※「組み入れ上位10業種比率」は国内株式における上位業種を表示しています。

※「組み入れ上位10業種比率」「組み入れ上位10銘柄比率」の業種は、東証33業種分類を用いて表示しています。なお、海外株式、海外投資証券については「その他海外株」として表示しています。

※「組み入れ上位10銘柄比率」の規模は、基準日時点の時価総額と以下の区分に基づき作成しています。
大型(3,000億円以上)
中小型(300億円以上、3,000億円未満)
超小型(300億円未満)

組み入れ上位10銘柄 比率

	銘柄名	銘柄コード	規模	上場市場	業種	組入比率
1	トヨタ自動車	7203	大型	プライム市場	輸送用機器	4.86%
2	M＆A総研ホールディングス	9552	大型	プライム市場	サービス業	2.42%
3	NVIDIA CORPORATION	NVDA	大型	NASDAQ	その他海外株	1.80%
4	村田製作所	6981	大型	プライム市場	電気機器	1.59%
5	三越伊勢丹ホールディングス	3099	大型	プライム市場	小売業	1.53%
6	MICROSOFT CORPORATION	MSFT	大型	NASDAQ	その他海外株	1.49%
7	ニトリホールディングス	9843	大型	プライム市場	小売業	1.49%
8	ダイキン工業	6367	大型	プライム市場	機械	1.48%
9	味の素	2802	大型	プライム市場	食料品	1.48%
10	ＧＭＯペイメントゲートウェイ	3769	大型	プライム市場	情報・通信業	1.47%

ひふみワールドファンド* 運用状況

純資産総額	181.13億円

投資信託財産の構成	
ひふみワールドマザーファンド	100.00%
現金等	0.00%
合計	100.00%

ひふみワールドマザーファンド 運用状況

ひふみワールドマザーファンドの状況	
純資産総額	2,976.16億円
組み入れ銘柄数	114銘柄

資産配分比率	
海外株式	92.34%
海外投資証券	3.19%
現金等	4.47%
合計	100.00%

組み入れ上位10カ国 比率		
1	アメリカ	65.50%
2	イタリア	6.79%
3	ドイツ	5.15%
4	フランス	4.50%
5	イギリス	2.55%
6	デンマーク	2.26%
7	スイス	2.21%
8	台湾	1.74%
9	スウェーデン	1.71%
10	オランダ	1.60%

組み入れ上位10業種 比率		
1	資本財	17.26%
2	自動車・自動車部品	9.02%
3	ソフトウェア・サービス	8.93%
4	半導体・半導体製造装置	8.76%
5	メディア・娯楽	6.48%
6	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	6.33%
7	金融サービス	6.08%
8	一般消費財・サービス流通・小売り	5.14%
9	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	4.35%
10	耐久消費財・アパレル	3.96%

組み入れ上位10通貨 比率		
1	米ドル	75.13%
2	ユーロ	12.40%
3	デンマーク・クローネ	2.26%
4	イギリス・ポンド	1.83%
5	スイス・フラン	1.69%
6	台湾ドル	1.11%
7	スウェーデン・クローナ	0.65%
8	ノルウェー・クローネ	0.45%
9	フィリピン・ペソ	0.00%
10	-	-

＊「ひふみワールドファンド」は正式名称を『ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）』といい、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てで表示しています。

※各比率は、純資産総額に対する比率を表示しています。

※現金等は、純資産総額から有価証券時価総額を差し引いたコールローン、その他の資産です。未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※「資産配分比率」の株式には、新株予約権を含む場合があります。海外投資証券はREIT（不動産投資信託）等です。

※「組み入れ上位10カ国比率」「組み入れ上位10銘柄比率」の国は、原則として発行国で区分しております。なお、国には地域が含まれます。

※「組み入れ上位10業種比率」「組み入れ上位10銘柄比率」の業種は、株式における上位業種を表示し、原則としてGICS（世界産業分類基準）の産業グループ分類に準じて表示しております。

組み入れ上位10銘柄 比率

	銘柄名	国	通貨	業種	組入比率
1	FERRARI NV	イタリア	米ドル	自動車・自動車部品	5.53%
2	MICROSOFT CORPORATION	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	4.12%
3	DR. ING. H.C. F. PORSCHE AG	ドイツ	ユーロ	自動車・自動車部品	3.09%
4	AMAZON.COM, INC	アメリカ	米ドル	一般消費財・サービス流通・小売り	3.00%
5	NETFLIX, INC	アメリカ	米ドル	メディア・娯楽	2.58%
6	NOVO NORDISK AS	デンマーク	デンマーク・クローネ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.26%
7	AMERICAN EXPRESS COMPANY	アメリカ	米ドル	金融サービス	2.04%
8	APPLE INC	アメリカ	米ドル	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	1.91%
9	EMERSON ELECTRIC CO	アメリカ	米ドル	資本財	1.80%
10	PALO ALTO NETWORKS, INC	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	1.79%

ご参考：マザーファンド基準価額の推移と運用成績

期間：2021年3月30日～2024年2月29日

ひふみグローバル債券マザーファンド　基準価額の推移（日次）

ひふみグローバル債券マザーファンド 運用成績	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	まるごとひふみ設定来
	-0.18%	0.73%	0.12%	-0.86%	-	-10.56%

ひふみ投信マザーファンド　基準価額の推移（日次）

ひふみ投信マザーファンド 運用成績	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	まるごとひふみ設定来
	5.26%	12.62%	15.18%	31.52%	-	19.06%

ひふみワールドマザーファンド　基準価額の推移（日次）

ひふみワールドマザーファンド 運用成績	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	まるごとひふみ設定来
	7.17%	15.16%	15.78%	34.27%	-	50.41%

※「まるごとひふみ」が直接または間接的に投資している各投資信託証券の基準価額の推移と運用成績を、「まるごとひふみ」の当初設定日の前営業日（2021年3月29日）を10,000として指数化して作成、算出しております。

※運用成績は小数点第三位を四捨五入して表示しています。「まるごとひふみ設定来」は、「まるごとひふみ」の設定日の前営業日（2021年3月29日）（「ひふみグローバル債券マザーファンド」は当初設定時）を起点として算出しております。

※「まるごとひふみ100」は、「ひふみグローバル債券マザーファンド」は組み入れていません。

※「まるごとひふみ」の投資対象ファンドの一つである「ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）」は、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。ここでは、「ひふみワールドマザーファンド」の基準価額の推移と運用成績を記載しております。

運用責任者よりお客様へ：まるごとひふみ

まるごとひふみ15は、「ひふみグローバル債券マザーファンド」が下落した一方、「ひふみ投信マザーファンド」と「ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）」が上昇したことにより、基準価額は前月末に比べて0.68％上昇しました。

まるごとひふみ50は、「ひふみグローバル債券マザーファンド」が下落した一方、「ひふみ投信マザーファンド」と「ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）」が上昇したことにより、基準価額は前月末に比べて2.84%上昇しました。

まるごとひふみ100は、「ひふみ投信マザーファンド」と「ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）」がともに上昇したことにより、基準価額は前月末に比べて5.94%上昇しました。

【ひふみ投信マザーファンド】

日本株は、一本調子に近い形で上昇しました。当ファンドの基準価額は月間で5.26%上昇しています。米半導体企業の好決算を背景に日本の半導体関連株も買われたほか、円安進行を受けた自動車などの輸出関連株、政策保有株の売却をアナウンスした損保株なども買われました。

【ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）】

米国株も、先月に続き上昇しました。当ファンドの基準価額は月間で7.21%上昇しています。エヌビディアをはじめとしたAI関連の企業収益が良好であり、投資家心理を強気に傾けました。また、米経済の軟着陸期待は根強く、景気敏感株や消費関連株にも買いが広がりました。

【ひふみグローバル債券マザーファンド】

債券市場は、欧米で金利が上昇基調となりました。当ファンドの基準価額は0.18%下落しています。米国ではパウエル議長をはじめ複数のFRB（連邦準備制度理事会）高官から、早期の利下げに慎重な発言が相次ぎました。先物市場が示唆する利下げ開始時期は後ずれしており、同じく予想される年内の利下げ回数も少なくなっています。

先行きについて、日経平均株価は過去最高値を更新し、名実ともに日本経済・企業の変化を印象づけています。順張りスタンスの海外投資家はもちろん、個人含む国内投資家も日本株への評価見直しを続けるでしょう。米国を中心に景気が堅調なときには、一般に株式相場が好調になりやすく、一方で債券相場は低調になりやすい傾向があります。今はそれがおおむね当てはまります。

もちろん長い期間で見れば、反対の動き（株式が低調で、債券が好調）になるタイミングが現れる可能性は当然あります。今年で考えても、米国で金融引き締めが長く維持されれば、景気の減速感が強まり、年後半などに利下げ回数が増加する可能性もあります。こうしたさまざまなシナリオに対応できるよう、資産分散によってリスクを軽減することが、バランスファンドのひとつの存在意義です。引き続き、チーム一丸となって全力で運用に努めてまいります。

（3月1日）

まるごとひふみ
ファンドマネージャー
橋本 裕一

※TOPIXは、全てTOPIX（配当込み）を用いています。TOPIX（配当込み）は当ファンドのベンチマーク（運用する際に目標とする基準）ではありませんが、参考として記載しています。TOPIXは、株式会社ＪＰＸ総研が算出、公表する株価指数です。日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出されます。

※TOPIX等の指数値およびTOPIX等に係る標章または商標は、株式会社ＪＰＸ総研または株式会社ＪＰＸ総研の関連会社（以下「ＪＰＸ」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIX等に関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIX等に係る標章または商標に関するすべての権利はＪＰＸが有します。ＪＰＸは、TOPIX等の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。当ファンドは、ＪＰＸにより提供、保証または販売されるものではなく、当ファンドの設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもＪＰＸは責任を負いません。

運用責任者よりお客様へ：ひふみグローバル債券マザーファンド

ひふみグローバル債券
マザーファンド
ファンドマネージャー
福室 光生

2月の米金利は上昇しました。インフレ指標が予想以上となり、強かった雇用統計も影響しました。これら1月分の指標は季節調整が上手くいっていない可能性があり、市場もFRB（連邦準備制度理事会）も半信半疑な状態です。市場では2～5年程度の金利が特に上昇し、過度な利下げ織込みが剥落しました。今後は、これまで順調に低下していたものの水を差されたインフレ率、一貫して強い雇用動向、利上げの影響が出ているものの問題化するレベルにはなっていない商業用不動産の動向が鍵になってくるものと思われますが、実質金利（＝名目金利－予想インフレ率）が十分高いことを前提に、米ドル建債券を積極的に保有しています。

一方、日銀は3月もしくは4月にマイナス金利を解除することが既定路線になっています。問題はその後の利上げがあるかどうか、あるとすればどれくらいのペースになるかです。GDP（国内総生産）が2四半期連続マイナスであったことやインフレ率がやや弱めに推移していることを根拠に、マイナス金利解除以降の利上げは無いという予想も多く見られますが、我々は過度な円安を修正させるために最低限の利上げを続けるというシナリオをベースにしています。米国次第ではあるものの0.75％程度までの利上げはあり得ると見ています。市場の利上げ織込みはまだ足らないという見方です。マイナス金利解除の際には、短期金利はゼロではなく+0.1％になること、イールドカーブコントロールは形を変えて金利が急上昇した際のストッパー的なものになること、国債買入れは継続されつつもゆっくりと減額されることが予想されています。

引き続き全力で運用してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

（2月29日）

ひふみアカデミー（月次運用報告会）のご案内

毎月、運用についてご報告するとともに、今後の経済や株式相場などの見通しについてご説明している「ひふみアカデミー」。運用メンバーより、動画配信にてご報告しております。
運用状況の他、経済環境や株式市場、経済見通しを知りたい方にもおすすめのセミナーです。Q&Aを含む全編をご覧いただけます。

YouTube動画セミナー「ひふみアカデミー」
https://www.youtube.com/playlist?list=PLkwGm3S_gh8S2ze4qSie9yAjrJidz3_7t

運用責任者よりお客様へ：ひふみ投信マザーファンド

2月はTOPIX（配当込み）が4.93％、S&P500が5.17％と強い上昇を示し、2月22日に日経平均株価が史上最高値をつけるなど、日本株の強さが目立った月でした。とくに米国企業のNVIDIAの予想を上回る決算が出たことで、半導体およびAI関連株が上昇しました。ひふみ投信マザーファンドは大型株主導の上昇相場には弱い傾向にありましたが、ポートフォリオの入れ替え効果もあり、2月はTOPIX（配当込み）を上回るパフォーマンスになりました。

2月の大きなトピックはトヨタ自動車株の大幅な組み入れです。とはいえ、現状のトヨタの組み入れ比率4.86%はTOPIX並みの比率であり、特に市場に対して大幅に持っているわけではないのですが、過去1銘柄で5％近く保有をしたことはあまりなかったので、その意味では大きな決断になります。一方でトヨタ株の大幅な組み入れについては、このタイミングでは非常に有効であると考えています。

理由はいくつかあります。1）日経平均株価のPER（株価収益率）は20倍程度であるのに対してトヨタのPERは10倍であり、割安感が強いこと。日経平均株価はTOPIXに対して割高感がありますが、今後TOPIXが日経平均株価に対して追いついていく動きを示すと予想をしています（全体が上がるか下がるかは別として）。そのときの牽引はトヨタ株になる可能性が高いと考えています。２）外国人投資家がまだ日本株に対して全体では買い遅れており、今後、日本に対して投資比率を上げていく際には、トヨタを指標銘柄として組み入れる可能性が高いと考えています。３）EV関連企業はテスラをはじめとして株価が下がっており、業績が低迷しています。その裏返しで米国や欧州でハイブリッド車の売り上げが上昇しています。消費者はEVからHV（ハイブリッド車）へ移行しているのに、マーケットでの評価はそのように動いていません。４）トヨタは配当の増加や持ち合い株式の解消など資本効率の改善余地が著しくあり、それがまだ実現していません。５）新NISAなどでインデックスの買いが膨らんでおり、その場合は自動的にトヨタに5％程度継続的な買いが入ること、などです。トヨタが上昇してもTOPIXに対する組み入れ比率がトヨタと同じならば市場に対して中立ですが、少なくともトヨタの非保有で市場を下回る可能性が少なく、一方で今後当社が得意な成長株や個別銘柄で市場を上回る要素が強いことを考えると、トヨタのウエイトを市場平均並みにしておくのは有効な運用戦略であると考えています。

個別銘柄ではＭ＆Ａ総研ホールディングス（2位）やDMG森精機（15位）、霞ヶ関キャピタル（29位）などの成長企業を組み入れながら、引き続き3月もよりよい成績を出せることを目指しています。

これからも全力で運用しますので、まるごとひふみをよろしくお願いいたします。

（3月6日）

ひふみ投信マザーファンド
ファンドマネージャー
藤野 英人

※日経平均株価に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社日本経済新聞社に帰属します。

※各指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

運用責任者よりお客様へ：ひふみワールドマザーファンド

ひふみワールドマザーファンド
ファンドマネージャー
湯浅 光裕

2月の米国株式市場は上昇しました。上旬はアーム（ARM）の好決算とその後の株価の急騰を好感し、市場全体も堅調に推移しましたが、中旬に入ると消費者物価指数が市場予想よりも上振れたことと、株式のバリュエーションの割高感への懸念から、上値は重くなりました。しかし、下旬に入り市場の注目を集めていたエヌビディアが市場予想を超える決算を発表したことが好感され、再び上昇方向に勢いがつきました。

日経平均株価がバブル以来、初めて史上最高値を更新したのは、最近の明るいニュースのひとつであったと思います。ただ、グローバル化した株式投資の世界においては、世界の株式市場に日本株市場が劣後、アンダーパフォーマンスしているのなら、実は大したことのないニュースになります。そこで、過去10年のMSCIワールド指数およびMSCIエマージング・アジア指数に含まれる各国別の指数の推移を調べてみました。その結果、日本を上回っている国は、デンマーク、米国、オランダ、フランス、インド、台湾でした。このうちデンマークとオランダ、台湾に関しては、それぞれノボ・ノルディスク、ASML、台湾積体電路製造（TSMC）の1銘柄の時価総額が急拡大した事によってほぼ説明可能といえます。幅広い銘柄の上昇により日本株をアウトパフォームできた国というのは、米国、フランス、インドのたった3ヵ国しかありませんでした。よって、円安というある意味逆風化でも日本株は比較的よくパフォームできていると言うべきでしょう。

一方、米国とインドの良好なパフォーマンスは日本のマスコミでも報道されていることからよく知られていると考えますが、フランスのラグジュアリー株のみに依存するわけではない好調さというのはあまり知られていないのではないかと考えます。好調に見える米国も、過去10年の牽引役だったMagnificent 7と呼ばれる超大型テクノロジー株の株価推移に跛行色が出てきています。このようなタイミングでは、過去パフォーマンスのよかった国や銘柄を盲信するのではなく、インドやフランスの強さの要因をしっかり分析し、ここから他にのし上がってくる国があるかどうかを見つけ出すというのも面白い調査テーマかも知れません。

レオスの運用チームも最近高い実力を備えたメンバーを次々に迎えることができています。今後も皆様の高い期待に答えるべく全力を尽くしてまいりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

（3月4日）

※各指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

市場環境の見通しについて

運用本部
経済調査室長
三宅一弘

日米株中心に上昇相場に弾み

適温経済、ゴルディロックス相場の様相へ

世界経済にとって最大の懸案であった物価高騰は、コロナ禍収束による供給・需要の適正化（供給不足・需要超過の解消）を主因に沈静化に向かっています。一方で、強硬な金融引き締めに伴い景気失速（後退）が懸念されましたが、非製造景気の堅調持続に加えて、停滞していた製造業景気が持ち直しに転じ、景気全般に底堅さが増しています。中国景気の不振などありますが、世界経済は米国主導で失速（後退）を回避するとの見方が大勢的です。世界株は日米株を中心に適温経済（景気が過熱も冷え込みもしない適度な状況）の下で、適温（ゴルディロックス）相場の様相です。特に日本株は日経平均株価が34年ぶりに最高値を更新しました。

金融政策面では3月にユーロ圏、日本、米国の順番で政策決定会合が開催されますが、欧米は現状維持が濃厚、一方で日銀はマイナス金利の解除（利上げ）など超緩和政策の修正に踏み出す可能性があります。日銀は春闘における大幅賃上げ回答（3月15日頃）を受けて3月18～19日会合か4月25～26日会合に決定しそうです。米欧の金融政策は利上げが終了し、23年末頃の市場見通しでは「24年春以降利下げを連続的に行なう」でしたが、現状では6月頃から米国が3回、ユーロ圏が4回利下げに後ズレ・後退しています。為替は日米金利差と連動しながら大幅な円安・ドル高が続いてきましたが、4～6月期以降、過度な円安・ドル高は修正に向かいそうです。

主要国の雇用・労働市場は引き続き堅調です。失業率は歴史的にみても低水準にあり、景気失速（後退）を回避する主因になっているとみられます。企業活動や技術革新サイクルを占う上で重要な世界半導体出荷額は拡張局面入りが鮮明になってきました。今後、設備投資をはじめ企業活動は活発化が予想されます。日米欧の企業業績は、アナリストコンセンサス予想で2024、25年と過去最高益連続更新見通しです。特に日米が好調です。

11月5日に予定されている米国の大統領選挙は民主党、共和党の候補がそれぞれバイデン大統領と、トランプ前大統領に絞られてきました。世論調査などによると、トランプ前大統領がやや優勢との評価だと思いますが、仮にトランプ前大統領が勝利する場合には対中国の輸入関税の大幅引き上げや、露宇戦争に対するウクライナ支援の後退が注目されそうです。不動産不況で停滞が続く中国経済にさらなる打撃となるのか、ロシアと接する欧州大陸の安全保障に対する懸念が高まるのか、いくつかの難題が待ち構えていそうです。

世界株は、先進国のなかでも日本と米国株が好調です。米国株は適温相場の下で「利下げ＋収益成長」を原動力に上昇相場に弾みがつく形ですが、物色面では情報技術などに市場人気が集中しています（一極化相場の様相）。日本株は日経平均株価が40,000円台で新値追い展開ですが、世界的な広義IT人気に加えて、経営変革や資本効率改善が進展する割安株にも物色人気が広がり、相対的にバランスがとれています。グローバルな投資マネーの注目を集めそうです。

（3月4日）

※各指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
※後述の「当資料のご留意点」を必ずご覧ください

運用メンバーからのメッセージ

毎月、トピックを用意して運用メンバーのコメントを集めています。
多様な考えや価値観をお届けすることを通じて、新しい視点を持っていただくきっかけになれば幸いです。

今月のトピック

仕事の質を上げてくれる便利グッズ（機能）または生活を潤してくれる癒しのアイテム

	Fujino Hideto 藤野 英人 代表取締役会長兼社長 最高投資責任者	最近アメリカで発売になったVision Proを入手しました。最先端のガジェットに触れているのが好きでかつ癒しにもなります。
	Yuasa Mitsuhiro 湯浅 光裕 代表取締役副社長 最高執行責任者	自分を楽しませる機能を自分の中に持っていて、いつもそれを発動させています。それでも気分が落ち込む場合には”寝ます”。これらが仕事の質を上げ、かつ生活環境を潤してます。
	Watanabe Shota 渡邉 庄太 運用本部長 シニア・アナリスト シニア・ファンドマネージャー	仕事面では、ワイドモニターを買いたいなと物色中です。マルチモニターよりも、横長1枚のワイドモニターのほうが生産性が上がりそうです。生活面では、ドラム式洗濯機は、タオルの乾燥後のふんわり感がとてもよく、えらく高価でしたが納得できる買い物でした。
	Senoh Masanao 妹尾 昌直 運用本部 副本部長 株式戦略部長 シニア・アナリスト	起床時のシャワーとコーヒーでしょうか。このセットがないと一日の仕事の質が非常に落ちている、もしくは不機嫌な状態でいることが多いような気がしますので、自分にとっては非常に重要な習慣です。
	Sasaki Yasuto 佐々木 靖人 シニア・アナリスト シニア・ファンドマネージャー	深夜にPodcastでラジオ番組を聴きながらウォーキングを1時間程度行ない、湯船につかり、その後に寝ます。睡眠が一番大事だと思います。
	Takahashi Ryo 高橋 亮 シニア・アナリスト シニア・ファンドマネージャー	うちの2匹の猫たちを超える存在はありません。

運用メンバーからのメッセージ

Oshiro Shintaro
大城 真太郎
シニア・アナリスト
ファンドマネージャー

扇風機、卓上扇風機、クリップ扇風機。汗が止まって仕事が捗ります。

Naito Makoto
内藤 誠
シニア・アナリスト
ファンドマネージャー

手帳を使って日々仕事を充実させています。忙しい毎日でも30分単位で仕事を割り振り手帳に書き留めることで、仕事や勉強、タスクが可視化されます。決められた時間の中で最大限のパフォーマンスを生み出せるように頑張ってます。

Zhou Huan
周　歓
シニア・アナリスト

生活を潤してくれる癒しのアイテムは目元マッサージャーです。仕事は終日パソコンを見ることが多いので、家族より誕生日プレゼントとしてもらいました。疲れた時の一休み、そして家族の愛情も感じられるので毎日愛用しています。

Kubo Tomohiko
久保 智彦
シニア・アナリスト

コーヒーです。カフェインで頭が冴えるのもさることながら、抽出中の香りにも癒されます。独自に発展してきた日本の喫茶店文化、コーヒー文化、すばらしいと思います。

Ohara Kenji
大原 健司
シニア・アナリスト

癒しではないですけれど、日々の生活のリズムを整えてくれるという意味で、ランニングシューズは重要なアイテムです。忙しい平日でも夜に時間ができれば軽く走ると気分転換になりますし、出張や旅行先で街を走るといつもと違った目線でその都市を発見できます。

Matsumoto Ryoga
松本 凌佳
アナリスト
ファンドマネージャー

二酸化炭素濃度の検知器を使用しています。
二酸化炭素濃度が上がりすぎると眠気が生じたり、集中力が低下すると言われております。適切な換気を行なうことで濃度を低く保ち、常に集中できる環境を整えています。

Ito Tsubasa
伊藤 翼
アナリスト

目薬ですね。ドライアイの目に潤いを与えてくれます。生活面ではホットアイマスクも重宝しています。電子レンジで温めると250回繰り返し使える優れものがあるのですが、デスクワークで疲れ果てた目を回復してくれます。

運用メンバーからのメッセージ

	Fukumuro Mitsuo 福室 光生 債券戦略部長 シニア・ファンドマネージャー	コーヒーです。豆を買ってきて手で挽いてます。ちょっと手間ですが、息抜きになりますし、何より美味しくいただけます。
	Hashimoto Yuichi 橋本 裕一 ファンドマネージャー 兼マーケットエコノミスト	ランバーサポートやネックピローでしょうか。ただ、いくつか試していますが、これだというゴールにはまだたどり着いていません。
	Rahimian Behrad ラヒミアン ベーラド アナリスト ファンドマネージャー	リポビタンDです。学部生の頃は気合を入れたいときにモンスターエナジー（カフェイン含有量：142mg）を摂取していましたが、適量のカフェインを2～3時間毎に摂取した方がクラッシュもなく長時間集中が持続することに気付いてから、もっぱらリポビタンD（含有量：50mg）を飲むようにしています。
	Miyake Kazuhiro 三宅 一弘 運用本部 経済調査室長	Bloombergをはじめとする情報基盤やChatGPT、インターネットの各種ホームページでしょうか。情報システムのうまい活用が仕事の質や量を高めると思います。

まるごとひふみの特色

まるごとひふみ15、まるごとひふみ50
投資信託証券への投資を通じて、主として内外の株式および内外の債券に実質的に投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行ないます。
まるごとひふみ100
投資信託証券への投資を通じて、主として内外の株式に実質的に投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行ないます。

1．投資信託証券への投資を通じて、世界の株式および債券等に分散投資を行ないます。
まるごとひふみ15、まるごとひふみ50
実質的に株式と債券に分散投資を行なうことで、基準価額の変動幅をおさえ、信託財産の中長期的な成長を目指します。
まるごとひふみ100
実質的に国内株式と海外株式に分散投資を行なうことで、信託財産の中長期的な成長を目指します。

2．資産配分比率が一定の比率となることを目指して運用を行ないます。
資産の実質的な保有比率が概ね以下の比率となるように、投資対象ファンド（ひふみ投信マザーファンド、ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）、ひふみグローバル債券マザーファンド ）の基本配分比率を調整します。
まるごとひふみ15　原則、株式約15％、債券約85％
まるごとひふみ50　原則、株式約50％、債券約50％
まるごとひふみ100　原則、株式約100％　※まるごとひふみ100は、ひふみグローバル債券マザーファンドには投資を行ないません。

投資リスク

■ 基準価額の変動要因
- 投資信託証券への投資を通じて株式や債券など値動きのある証券（外国の証券には為替変動リスクもあります。）に投資いたしますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。これらの運用により生じる利益および損失は、すべてお客様（受益者）に帰属します。
- 投資信託は預貯金等とは異なります。

■ 基準価額の変動要因となる主なリスク

価格変動リスク	国内外の株式や公社債を実質的な主要投資対象とする場合、一般に株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は発行体の信用力の変動、市場金利の変動等を受けて変動するため、その影響を受け損失を被るリスクがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性のもとでの取引が行なえない、あるいは不利な条件で取引を強いられたり、または取引が不可能となる場合があります。これにより、投資対象とする投資信託証券においては組入有価証券を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者や有価証券の貸付け等における取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想される場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となるおそれがあります。投資した企業等にこのような重大な危機が生じた場合には、大きな損失が生じるリスクがあります。また、実質的に投資した債券の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、債券価格が下落する可能性があり、損失を被るリスクがあります。
為替変動リスク	投資対象とする投資信託証券において外貨建資産を組み入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失が生じることがあります。また、一部の資産において、為替ヘッジを行なう場合に円の金利が為替ヘッジを行なう通貨の金利より低いとき、この金利差に相当するヘッジコストが発生します。
カントリーリスク（エマージング市場に関わるリスク）	当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、有価証券等の価格が大きく変動するリスクがあります。エマージング市場（新興国市場）への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券等の価格変動が大きくなる場合があります。また、新興国の公社債は先進国の公社債と比較して価格変動が大きく、債務不履行が生じるリスクがより高いものになる可能性があります。

※投資リスク(基準価額の変動要因)は、上記に限定されるものではありません。

お申込メモ

商品分類	まるごとひふみ15、まるごとひふみ50　追加型投信／内外／資産複合 まるごとひふみ100　追加型投信／内外／株式
設定日	2021年3月30日
信託期間	無期限
決算日	毎年4月15日（休業日の場合、翌営業日）
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行ないます。
購入単位	販売会社が定める単位となります。なお、収益分配金の再投資は、１円以上１円単位となります。
購入価額	ご購入のお申込受付日の翌営業日の基準価額（1万口当り）
購入代金	販売会社が定める日までに販売会社にお支払いください。
換金（解約）単位	販売会社が定める単位となります。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額（1万口当り）
換金代金	換金申込受付日から起算して6営業日目から、販売会社の本・支店等においてお支払いいたします。
購入・換金申込受付不可日	ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、香港証券取引所、香港の銀行またはロンドンの銀行のいずれかの休業日と同じ日付の場合には、申込受付は行ないません。
申込締切時間	購入・換金ともに、毎営業日の15時までに受け付けたものを当日のお申込みとします。（申込受付不可日は除きます。）ただし、販売会社によって受付時間が異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取り扱われます。配当控除の適用はありません。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。 当ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取り扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。

当資料のご留意点

- 当資料はレオス・キャピタルワークスが作成した販売用資料です。投資信託のお申込みにあたっては、事前に販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載されている当社が運用する投資信託の過去の運用結果等は、将来の結果等をお約束するものではありません。また、当該過去の運用結果等は、当該投資信託に投資をされた各投資家の利回りを表すものではありません。運用実績は投資信託の利益にかかる税金等を考慮していません。
- 当資料は作成日における信頼できる情報に基づき作成しておりますが、内容の正確性・完全性を保証するものではなく、また記載されている内容は予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- セミナー等で金融商品の説明等をすることや、お客様からのご依頼がある場合に金融商品に関連する追加の説明等をすることがあります。しかしながら、売買の推奨等を目的とした投資勧誘は行ないません。また、金融商品の案内、説明等はあくまで各お客様ご自身のご判断に資するための情報提供目的であり、金融商品の購入等を推奨するものでもありません。

お客様にご負担いただく費用

◇直接ご負担いただく費用
申込手数料 ：3.30%（税抜3.00%）を上限として、販売会社が定める料率とします。
「自動けいぞく投資コース」において、収益分配金を再投資する場合は無手数料です。
信託財産留保額：ありません。

◇間接的にご負担いただく費用：次のとおりです。

<table>
<tr><td>運用管理費用
（信託報酬）</td><td>信託財産の日々の純資産総額に対して下記に記載の信託報酬率を乗じて得た額
信託報酬とは、投資信託の運用・管理にかかる費用のことです。
日々計算されて、投資信託の基準価額に反映されます。毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときファンドの信託財産から支払われます。
運用管理費用の配分
<table>
<tr><th colspan="2"></th><th>まるごとひふみ15</th><th>まるごとひふみ50</th><th>まるごとひふみ100</th></tr>
<tr><td colspan="2">信託報酬率</td><td>年率0.660%
（税抜年率0.600%）</td><td>年率0.935%
（税抜年率0.850%）</td><td>年率1.320%
（税抜年率1.200%）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">支払先の配分（税抜）</td><td>委託会社</td><td>年率0.290%</td><td>年率0.415%</td><td>年率0.590%</td></tr>
<tr><td>販売会社</td><td>年率0.290%</td><td>年率0.415%</td><td>年率0.590%</td></tr>
<tr><td>受託会社</td><td>年率0.020%</td><td>年率0.020%</td><td>年率0.020%</td></tr>
</table>
※上記各支払先への配分には、別途消費税等相当額がかかります。</td></tr>
<tr><td>投資対象とする投資信託証券</td><td>投資対象ファンドにおける運用管理費用
純資産総額に対して以下の率を乗じて得た額
<table>
<tr><th></th><th>まるごとひふみ15</th><th>まるごとひふみ50</th><th>まるごとひふみ100</th></tr>
<tr><td>ひふみワールドファンドFOFs用
（適格機関投資家専用）</td><td>年率0.00264%
（税抜年率0.00240%）</td><td>年率0.0088%
（税抜年率0.0080%）</td><td>年率0.0176%
（税抜年率0.0160%）</td></tr>
</table>
※ 上記は投資対象ファンドを基本の組入比率に従って組み入れた場合の運用管理費用（信託報酬）です。この値は目安であり実際の組入状況により変動します。
※「 ひふみ投信マザーファンド」「ひふみグローバル債券マザーファンド」は、運用管理費用（信託報酬）がかかりません。</td></tr>
<tr><td>実質的な負担</td><td>純資産総額に対して以下の率を乗じて得た額
<table>
<tr><th>まるごとひふみ15</th><th>まるごとひふみ50</th><th>まるごとひふみ100</th></tr>
<tr><td>年率0.66264%程度
（税抜年率0.60240%程度）</td><td>年率0.9438%程度
（税抜年率0.8580%程度）</td><td>年率1.3376%程度
（税抜年率1.2160%程度）</td></tr>
</table>
※ 基本の組入比率で按分した投資対象ファンドの運用管理費用（信託報酬）を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。この値は目安であり、各投資信託証券への投資比率の変更等により変動します。また、投資対象ファンドの変更等により今後変更となる場合があります。</td></tr>
<tr><td>監査費用</td><td>信託財産の純資産総額に対して年率0.0055%(税込)以内を乗じて得た額。監査費用は監査法人との契約条件の見直しにより変更となる場合があります。日々計算されて、毎計算期末または信託終了のときに信託財産から支払われます。</td></tr>
<tr><td>その他費用・手数料</td><td>投資対象とする投資信託証券における諸費用および税金等、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立て替えた立替金の利息など。これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、予めその金額や上限額、計算方法等を具体的に記載することはできません。</td></tr>
</table>

※手数料等の合計金額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

ファンドの関係法人

委託会社：レオス・キャピタルワークス株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長(金商)第1151号
加入協会　一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
受託会社：三井住友信託銀行株式会社
販売会社：後述の「販売会社」でご確認いただけます

当ファンドや販売会社についての照会先

RHEOS CAPITAL WORKS

レオス・キャピタルワークス株式会社
電話：03-6266-0129
受付時間：営業日の9時～17時
ウェブサイト：https://www.rheos.jp/

販売会社（銀行）

※お申込み、投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください。販売会社については、今後変更となる場合があります。

まるごとひふみ15

金融商品取引業者名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第2号	○			
株式会社イオン銀行 (委託金融商品取引業者マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長（登金）第633号	○			
株式会社岩手銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第3号	○			
株式会社大垣共立銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第3号	○		○	
株式会社佐賀銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第1号	○		○	
株式会社荘内銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第6号	○			
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○		○	
株式会社仙台銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第16号	○			
株式会社但馬銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第14号	○			
株式会社千葉興業銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第40号	○			
株式会社八十二銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第49号	○		○	
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第10号	○		○	
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第624号	○		○	
株式会社北都銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第10号	○			
株式会社北陸銀行	登録金融機関	北陸財務局長（登金）第3号	○		○	
株式会社三菱ＵＦＪ銀行 (インターネット専用)	登録金融機関	関東財務局長（登金）第5号	○		○	○

販売会社（銀行）

※お申込み、投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください。販売会社については、今後変更となる場合があります。

まるごとひふみ50

金融商品取引業者名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第2号	○			
株式会社イオン銀行 (委託金融商品取引業者マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長（登金）第633号	○			
株式会社岩手銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第3号	○			
株式会社大分銀行	登録金融機関	九州財務局長（登金）第1号	○			
株式会社大垣共立銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第3号	○		○	
株式会社佐賀銀行	登録金融機関	福岡財務支局長（登金）第1号	○		○	
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第5号	○		○	
株式会社荘内銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第6号	○			
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○		○	
株式会社仙台銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第16号	○			
株式会社但馬銀行	登録金融機関	近畿財務局長（登金）第14号	○			
株式会社千葉興業銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第40号	○			
株式会社栃木銀行	登録金融機関	関東財務局長（登金）第57号	○			
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第10号	○		○	
株式会社福島銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第18号	○			
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第624号	○		○	
株式会社北都銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第10号	○			
株式会社北陸銀行	登録金融機関	北陸財務局長（登金）第3号	○		○	
株式会社三菱ＵＦＪ銀行 (インターネット専用)	登録金融機関	関東財務局長（登金）第5号	○		○	○

まるごとひふみ100

金融商品取引業者名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第2号	○			
株式会社イオン銀行 (委託金融商品取引業者マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長（登金）第633号	○			
株式会社荘内銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第6号	○			
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○		○	
株式会社仙台銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第16号	○			
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長（登金）第10号	○		○	
株式会社福島銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第18号	○			
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長（登金）第624号	○		○	
株式会社北都銀行	登録金融機関	東北財務局長（登金）第10号	○			
株式会社北陸銀行	登録金融機関	北陸財務局長（登金）第3号	○		○	
株式会社三菱ＵＦＪ銀行 (インターネット専用)	登録金融機関	関東財務局長（登金）第5号	○		○	○

販売会社（証券会社・その他金融機関）

※お申込み、投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください。販売会社については、今後変更となる場合があります。

まるごとひふみ15

金融商品取引業者名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第67号	○	○	○	
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	
ＳＭＢＣ日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
株式会社SBIネオトレード証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第8号	○		○	
OKB証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第191号	○			
GMOクリック証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第77号	○		○	○
Ｊトラストグローバル証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第35号	○			
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第108号	○	○	○	○
大和コネクト証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3186号	○			
tsumiki証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3071号	○			
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第134号	○			
広島信用金庫	登録金融機関	中国財務局長（登金）第44号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第152号	○	○		
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○

まるごとひふみ50

金融商品取引業者名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第67号	○	○	○	
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	
ＳＭＢＣ日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
株式会社SBIネオトレード証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第8号	○		○	
OKB証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第191号	○			
GMOクリック証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第77号	○		○	○
Ｊトラストグローバル証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第35号	○			
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第108号	○	○	○	○
大和コネクト証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3186号	○			
とうほう証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長（金商）第36号	○			
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第134号	○			
広島信用金庫	登録金融機関	中国財務局長（登金）第44号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第152号	○	○		
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○

販売会社（証券会社・その他金融機関）

※お申込み、投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、以下の販売会社へお申し出ください。販売会社については、今後変更となる場合があります。

まるごとひふみ100

金融商品取引業者名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第67号	○	○	○	
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	
ＳＭＢＣ日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
株式会社SBIネオトレード証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第8号	○		○	
おかやま信用金庫	登録金融機関	中国財務局長（登金）第19号	○			
GMOクリック証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第77号	○		○	○
Ｊトラストグローバル証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第35号	○			
大和証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第108号	○	○	○	○
大和コネクト証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第3186号	○			
長野證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第125号	○			
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第134号	○			
ひろぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長（金商）第20号	○			
広島信用金庫	登録金融機関	中国財務局長（登金）第44号	○			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第152号	○	○		
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○